

第2580地区

東京セントラルパークロータリークラブ

The Rotary Club of Tokyo Central Park

Weekly Report

2014～2015 年度スローガン

奉仕の輪 友情の輪 ニッ揃って

『ロータリーの大きな和』

第11回（通算1520回） 2014年9月30日

◆ ◆ ◆ 本日の例会 ◆ ◆ ◆

- | | |
|----------------------|----------------|
| 〈1〉 開会点鐘・開会挨拶 | 〈6〉 出席状況報告 |
| 〈2〉 ロータリーソング「日も風も星も」 | 〈7〉 メイクアップ報告 |
| 〈3〉 ビジター紹介 | 〈8〉 委員会報告 |
| 〈4〉 幹事報告 | 〈9〉 ニコニコBOX 報告 |
| 〈5〉 8月のニコニコ大賞 原田会員 | 〈10〉 閉会点鐘 |

◆ ◆ ◆ 本日の卓話 ◆ ◆ ◆

本日の卓話

「イニシエーション・スピーチ」 小野博文会員
「ロータリーの基礎」 渡辺功一会員

次週の卓話 <10/7>

「ローターアクトとは ～46年の軌跡と未来への一步～」

ローターアクトパスト地区代表(東京池袋 RAC) 小美野義一氏

◆◆◆ 先週の例会記録 ◆◆◆

2014年9月12日 第10回(通算1519回)

開会点鐘 河野城北 RC 会長 ヒルトン「桂の間」

*ゲスト紹介 1名 松尾英男様(卓話講師)

*出席報告

出席 17名 欠席 14名 (免除者2名)

出席率 58.62% 補正出席率(9/2) 89.28%

◆◆◆ 幹事報告 ◆◆◆

1. 地区より依頼のありました「広島豪雨災害義援金のお願い」のご協力、有難うございました。35,000円の寄付が集まりました。
2. 次週16日(火)は本日12日の振替例会休会日となっています。お間違えの無いようお願いいたします。

◆◆◆ ニコニコBOX 報告 ◆◆◆

東京練馬中央 RC 会長 内田様、市河様

本日はIMのご案内に伺いました。宜しくお願いいたします。

今週の合計 1件 5,000円

今期の累計 351,071円

2014-15年度
クラブフォーラムのご案内

テーマ

「クラブ独自の奉仕活動を考えよう」

日時:2014年10月14日(火)

13時30分~15時30分

会場:ハイアットリージェンシー東京

地下1階「東山の間」

○ Aグループ

リーダー:鈴木会員 リポーター:富永会員

○ Bグループ

リーダー:榎本会員 リポーター:橋本会員

* 詳細案内はメール配信(一部 FAX 配信)しております。欠席の場合は松林幹事が事務局までご連絡をお願いします。

(本日、ポストにも案内文を配布しております)

◆◆◆ 前々回(9/9)の卓話 ◆◆◆



「Jリーグ選手会について」

高野純一氏

一般社団法人と労働組合の意味をもつ日本プロサッカー選手会とは、当時川端三郎Jリーグチェアマンの呼びかけでプロサッカー選手の立場で活動する組織として、1996年4月にJリーグ選手協会が設立されました。選手の地位向上に関する問題の取組のみならず全国各地でのサッカークリニックや各種チャリティー活動など、社会貢献活動(1996年より定期的にサッカースクールを開催。毎年、養護施設の児童たちを招待。例年、関東・関西・九州、今年は広島で開催)にも積極的に取り組んでいます。

近年では東日本大震災により東北地域の子供たちにプロサッカー選手によるサッカー教室やチャリティーマッチなどを開催し復興支援を応援しています。

選手会の活動は、選手の要望や問題提起から成り立っています。選手からでた意見や要望は事務局で集約し、総会や理事会で方向性を決め、その後JFA、Jリーグと交渉を行います。

選手が日常抱える、疑問や要望は、選手ひとりが主張しても中々通らないかもしれません。それに1人勝手に発言、交渉しても解決にはつながりません。1人でできないことでも、選手会を通じて選手皆が力を合わせれば解決できることはたくさんあります。

FIFA(国際サッカー連盟)に対応する組織として、各国選手会の国際連盟であるFIFPro(フィフプロ)があります。我々日本は2000年にアジア地域で初のFIFPro加盟国になりました。

現在、アジア・オセアニア地域においてはオーストラリア、ニュージーランド、インドネシア、インド、マレーシアの6ヶ国が加盟しております。アジア圏は少ないのが現状です。

また、今年10月にはフィフプロの定例総会が東京で開催されることが決定しております。これは日本サッカー界にとってもさらなる発展を実現できる絶好の機会になることと期待されていきます。

世界の移籍制度に大きな影響を与えた1995年のボスマン(選手の名前)判決においても、FIFProは選手の権利と自由を求めて積極的にかかりました。現在では、契約や移籍など選手がかかわる制度の変更などに意見が反映されるようになりました。2009年に改正された日本国内での移籍制度についてもFIFProからの支援をなくしては実現することはできませんでした。

香川選手などもマンチェスターとの契約期間がまだ残っていましたが、ドルトムントが多額の資金をだして香川選手を移籍させました。日本では2009年から自由に移籍できるように制度が変わりました。

プロサッカー選手の寿命は5年といわれています。毎年150人程度の選手の契約が満了となります。2002年12月より、契約が満了になった選手を対象にJPF Aトライアウトを開催しています。この制度の導入により選手もクラブも時間を有効活用できるようになりました。現在の規約では、契約が終了する6ヶ月前から新たな契約を結ぶことができるようになっております。

プロサッカー選手とは所属クラブと契約しており、契約期間は最長5年間(18歳未満の選手は最長3年間)。満16歳以上で日本サッカー協会の加盟チーム所属し、その認定を受けなくてはなりません。新入選手の年棒は480万円から始まり(リーグ戦以外の試合に出場した場合などは+α)契約金などはありません。プロ野球選手などに比べると入口も厳しく出口も大変厳しいのが現状です。

JPF Aは選手たちを生活面から支援しています。社会人の経験が少ない選手もおり税金について学ぶ機会のない選手も多数います。確定申告や税金の種類、国民年金の仕組みや冠婚葬祭の基礎知識などをサポートしています。

JPFは、今後も引退支援金、統一契約書の見直しなどの懸案事項をJリーグ及びJFAと協議して、プロサッカー選手の社会的、経済的地位の向上を目的に活動してまいります。

【編集・記/会報委員会】



深谷会員より卓話講師 高野氏のご紹介がありました。

◆◆◆ 先週の卓話 ◆◆◆



「在宅医療と自宅看取りの現状」

松尾英男氏

日本在宅医学会専門医として長く医療現場を見てこられた立場から、終活をいかに迎えるかの卓話をいただきました。



実りの秋

◆◆◆ 10月の例会プログラム ◆◆◆

7日	「ローターアクトとは ～46年の軌跡と未来の一步～」 RID2580 ローターアクトパスト代表 小美野 義一氏
14日	「ロータリー米山奨学事業の現状」 地区米山奨学副委員長 須藤 仁氏(東京麴町 RC)
21日	「奉仕の心とその実践」 地区職業奉仕委員会委員 加藤 幸男氏(東京練馬西 RC)
28日	「未定」 中野区社会福祉協議会事務局次長 秋元 健策氏

◆◆◆ 先週の例会より ◆◆◆



IMのご案内にお見えの 東京練馬中央 RC
内田会長様と IM 実行委員の市河様



城北 RC 河野会長と谷津会長のご挨拶



合同例会風景



城北 RC の玉井幹事の代理として幹事報告
される、甲斐 P 会長と当クラブの松林幹事



渡辺大会実行委員長より地区大会の案内

—事務局からのお知らせとお願い—
* 例会欠席の場合は、前日までに事務局
にご連絡下さい。

例会日 毎週火曜日 12:30~13:30
例会場 ハイアットリージェンシー東京
会長 谷津 和広 副会長 牧野 光洋
幹事 松林 茂 会報委員長 深谷 敏哉
事務局 〒166-0004
東京都杉並区阿佐ヶ谷南 1-34-6 新東京会館
TEL(03)3312-4959 FAX(03)3312-4958
E-mail: info@tokyocentralpark-rc.com
<http://www.tokyocentralpark-rc.com/>